

## 勤怠管理のITツール決定版 注目の「ちゃっかり勤太くん」

勤怠管理にIT化の波が押し寄せている。接触型ICカード技術Felica（フェリカ）、指紋や静脈認証など、最新の技術を利用したASPサービスを導入する企業が増えつつある。業務の効率化とともに、働く側の不正を防ぎ、雇用側の法令順守を示すニーズが高まっている。ASP勤怠管理システムを提供するエイ・アイ・エスには、国内だけでなく、韓国からも受注が相次いでいる。  
 (リポート・岡 礼子)

### [Vol.54] 「エイ・アイ・エス」

勤怠管理の主流は、まだタイムカード方式だという。しかし、リアルタイムに管理できない▽入力コストがかかる▽不正が起きやすい—といった課題を抱える。

エイ・アイ・エスによると、タイムカードで月額数百万円かかるコストは、ASPサービスを利用することで2万円程度におさえられるという。同社のASP勤怠管理システム「ちゃっかり勤太くん」は、1人の初期費用が1260円、月額210円からと業界最安クラスで、データの集計、確認、入力などの煩雑な業務が軽減される。社内でも使っており、「とにかく担当者が増えた」と太鼓判を押す。

派遣業界からも問い合わせ

同社では7、8年前にASPサービスの研究を始め、05年4月、

**いままでのアナログ作業では...**

今までの勤務管理方法では、時間がかかってたいへんでした

- 1 タイムカード
- 2 各店から郵送個別集計
- 3 各店とFAX・TELで確認
- 4 照合作業
- 5 Excelへデータ入力

**ちゃっかり「勤太くん」を導入すると!**

短時間で簡単・正確な勤務管理を実現し、各社給与ソフトとの連携も抜群です

- 1 タイムカード
- Excelへのデータの移行もワンクリック!
- 2 Excelへデータ入力

**選べる入力方法!**

- 直接入力
- 携帯電話
- フェリカ
- 指紋認証
- 静脈認証
- タッチパネル

正式にサービスをスタートした。業種にかかわらず、カラオケ店や飲食チェーン、レンタルビデオショップなど、多くの拠点を持つ企業が導入している。

これまで導入は中小企業が主だったが、中堅から大手企業も増えており、人材派遣会社からの問い合わせも多いという。派遣業界は就業期間が多様で、勤務状況などをめぐってトラブルになりやすい。

勤怠管理のリアルタイム性も求められる。同社では「システム化するニーズがある。業界の関心も高いのではないかと注目する。

日雇い派遣の給与天引き問題、飲食店店長の不払い残業代訴訟など、「企業にコンプライアンスの気運が高まっていることも追い風にした」と期待する。

同社の強みは、システムを独自開発する技術力。新しい技術と顧客ニーズに柔軟に対応できるように、「拡張性の高いシステム」を目指してきた。多様な本人認証システムもその一つで、これまで最新だった「指紋認証」には抵抗感が強く、読み取れないケースがあるため、よりエラーの少ない方法として「静脈認証」を取り入れた。

24時間稼働、早朝や深夜の営業、シフト制やフレックスタイムなど、さまざまな勤務形態に対応する工夫もした。責任者の南雲氏は「法制度の変更にも、会社によって異なる特殊なニーズにも対応できる汎用性の高いシステムを目指す」と話す。

### 労使の不信感を払拭

これまでの勤怠データには、雇用者側、従業員側の双方から、根強い不信感がある。

例えば、店員がいる時間に店の電話に誰も出なかった場合、雇用者は「出勤していないのではないかと疑う。特に技術者や夜間の接客業など、時給が高い職種の場合、短時間の不正でも積み重なると大きな問題になる。

一方、働く側にも会社に疑われているのではないかと、正当に給与が支払われていないのではないかと不信感が沸く。南雲氏は「接客中など、正当な理由があつて電話に出られなかったのかもしれない。お互いに不信を抱くのは、双方のためにならない」と話す。

働く側にとって、勤怠データをASPで管理

[http://www.a-i-s.co.jp/\\_src/products/kinta\\_HP/index.htm](http://www.a-i-s.co.jp/_src/products/kinta_HP/index.htm)



執行役員  
東日本第一営業部責任者  
南雲 一幸 氏

#### 企業概要

場所：東京都文京区本郷 2-15-13  
お茶の水ウイングビル9階

社長：大浦 博

1983年設立。資本金2000万円、従業員数65人（2008年2月1日現在）。業務に特化したシステム構築に伴う企画、提案、コンサルティング、教育、パッケージの導入販売、システム開発・運用までのソリューションをサービスする。酒類販売業向け、海運・物流業向けなど、業界に特化したシステムを提供している。

することは、「トラブルが起きててもデータを第三者が見ている」「働いた分を給与としてきちんともらえる」という安心感につながる。勤怠データを外部に出すことへの抵抗感は減ってきたという。

同社のASP基幹業務システム「ちやつかりシリーズ」は1月、NPO「ASP・SaaSインダストリー・コンソーシアム・ジャパン」が主催する「ASP・SaaS・ICT アウトソーシングアワード2007/2008」で、ライセン্স数の伸び率が最も高かったサービスに贈られる「ベストブレイク賞」を受賞した。

南雲氏は「企業のコスト削減に貢献できるサービスとして、潜在的なニーズが引き出された。受賞に恥じないシステムにしていく」と心意氣を語る。